

ていることから、地域の交通環境の特異性や患者本人以外に運転のできる同居者がいるかどうかといった家族構成が影響を及ぼしている可能性は否定できない（豊田ら，2005；池田ら，2005）。今後さらに多数例での妥当性の評価が必要であると考えらる。

参考文献

- ・ American Psychiatric Association : APA Practice Guideline for the Treatment of Patients with Alzheimer' s disease and senile dementia. American Psychiatry Publishing, 1997
- ・ Canadian Medical Associationホームページ :
http://www.cma.ca/index.cfm/ci_id/18223/la_id/1.htm.
- ・ Dubinsky RM, Stein AC, Lyons K : Practice parameter: Risk of driving and Alzheimer' s disease (an evidence-based review)-Report of the quality standards subcommittee of the American Academy of Neurology. Neurology 54 : 2205-2011, 2000
- ・ Folstein MF, Folstein SE, McHugh PR : Mini-Mental State. A practical method for grading the cognitive state of patients for clinician. J Psychiat Res 12 : 189-198, 1975
- ・ 博野信次 : 高齢痴呆症患者の自動車運転 -今, 解決しなくてはならない問題点-. 精神経誌 107 : 1322-1327, 2005
- ・ Hughes CP, Berg L, Danziger WL, et al: A new clinical scale for the staging of dementia. Br J Psychiatry 140 : 566-752, 1982
- ・ 池田 学, 豊田泰孝, 繁信和恵 : 痴呆症患者の自動車運転中止に関するコンセンサスと医師の役割について. 精神経誌 107 : 1348-1352, 2005
- ・ 松本光央, 豊田泰孝, 池田 学 : 高齢者の運転の実態と今後の展望について. 老年精神医学 16 : 815-821, 2005
- ・ Morris JC : The Clinical Dementia Rating (CDR): current version and scoring rules. Neurology 43 : 2412-2414, 1993
- ・ 豊田泰孝, 池田 学, 田邊敬貴 : 地方都市における高齢者の自動車運転と公共交通機関に関する意識-痴呆と自動車運転の問題を中心に-. 日本医師会雑誌 134 : 450-453, 2005

2. アルツハイマー病と前頭側頭葉変性症の運転行動の特徴

-認知症の原因疾患による運転行動の違いと危険性-

A. 研究目的

認知症患者の自動車運転能力を評価することは、患者と社会の安全対策のためにきわめて重要なことである。認知症患者は、同世代の健常ドライバーと比較し2.5~4.7倍自動車運転による事故の危険性が高いという報告がある(Reger et al, 2004)。これまで認知症に関する運転研究はほとんどがアルツハイマー病 (Alzheimer's disease ; AD) に関するものであり、人格変化や社会的接触性の障害などの行動変化を特徴とする前頭側頭葉変性症 (frontotemporal lobar degeneration; FTL) (Neary et al, 1998) の自動車運転に関する報告はほとんどない。FTLD も認知症の原因疾患として重要で、次第に認識されるようになってきた (Ikeda et al, 2004 ; Ratnavalli et al, 2002)。しかし、当て逃げ事故を引き起こしたFTLDの報告例が少数あるのみである (Miller et al, 1997 ; Kumamoto et al, 2004)。FTLDの運転行動は、疾患の行動特徴からADのそれとは異なると考えられるが、FTLDの運転能力に関する報告はない。そこでFTLDの運転行動上とその危険性をADと比較することを試みた。

B. 研究方法

1995年~2002年の期間中に高知大学医学部附属病院神経科精神科外来、および関連病院を受診し、老年精神医学の専門医の診察を受けた患者で、MMSEとCDRを含む包括的な神経心理学的検査と神経精神医学的評価、MRIならびにSPECTを施行したものを対象とした。対象患者は調査期間中の初診時において運転を継続している者で、FTLDの国際診断基準 (Neary et al, 1998) を満たした8名とNINCDS-ADRDAのprobable ADの診断基準 (McKhann et al, 1984) を満たした23名の連続症例であった。評価内容は、発症後の運転行動の変化、交通事故や違反の有無について、半構造化面接により家族情報から得た。

C. 研究結果 (図10)

FTLD群は男性5名、女性3名で平均年齢 65.8 ± 8.4 歳、平均Mini-Mental State Examination (MMSE) : 19.8 ± 7.2 、平均罹病期間 1.75 ± 1.0 年であった。重症度評価であるClinical Dementia Rating (CDR) ではCDR 0.5のごく軽度認知症2

名、CDR 1は4名、CDR 2は2名であった。AD群は男性13名、女性10名で平均年齢68.5±7.6歳、平均MMSE17.0±6.8、平均罹病期間1.87±1.2年で、CDRでは0.5は7名、CDRは11名、CDR 2は5名であった。両群間で性別、年齢、MMSE、CDRに有意な差はなかった。

運転行動においては、FTLDでは車間距離の調整困難が62.5%、接触事故が87.5%、信号・道路標識の無視が62.5%、わき見・注意散漫運転が62.5%に認められた。一方ADでは、行き先忘れが95.6%、車庫入れの失敗が17.6%に認められた。交通事故や交通違反の危険性は、FTLD群が87.5% (7/8)、AD群が21.7% (5/23)で、FTLD群のほうが有意に危険性は高かった ($p < 0.001$, Fisher's exact test)。更に、認知症の発症から初回交通事故までの期間は、FTLD群 (1.28±0.49年)の方がAD群 (3.0±1.2)年より有意に短かった (Mann-Whitney U test、 $p < 0.05$)。

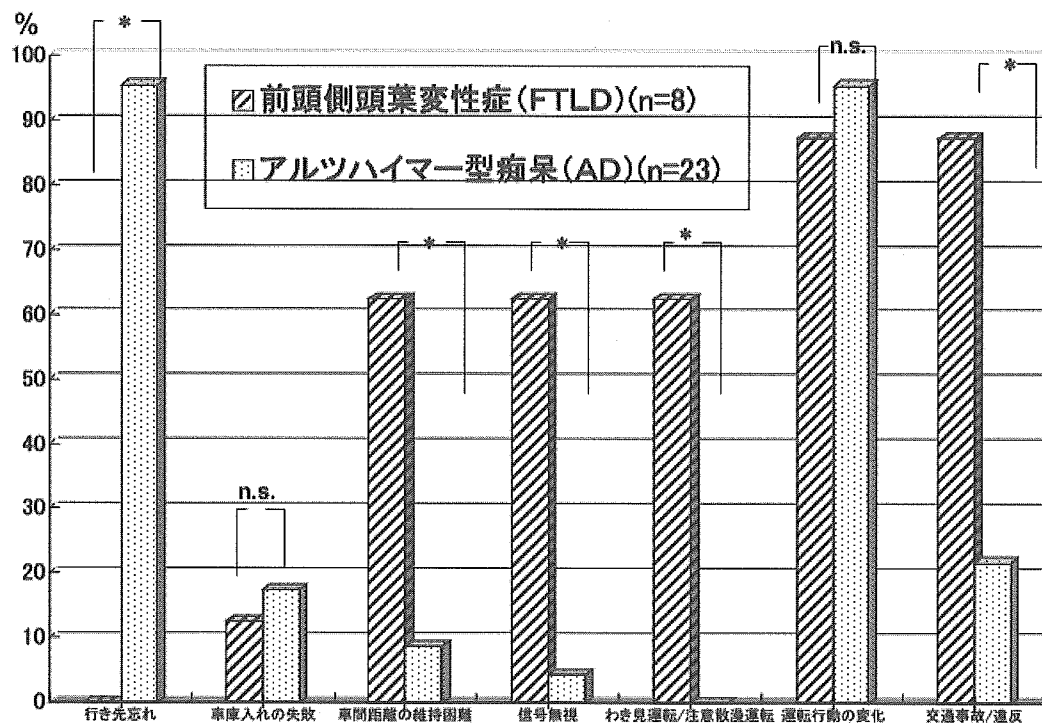
D. 考察

FTLD群とAD群の運転行動の質的比較検討から、FTLD群が有意に交通事故や交通違反の危険性が高いことが示された。したがって、医師はFTLDという診断が、ADよりも公共の交通安全という点ではより深刻な危険性を意味することを銘記しておく必要がある。これまでの認知症と運転行動に関するRegerらのメタアナリシス (Reger et al, 2004)では、視空間性能力のみが運転能力と関連している神経心理学的所見であったと報告している。今回の我々の検討でも、車庫入れの失敗がADに多く見られたことに関連していると思われる。しかしながら、FTLD群では視空間性の障害はほとんどないか稀である。FTLDでみられる運転行動の問題は、衝動性や脱抑制などの人格面での変化により関連していると思われる。そのため、医師は認知症患者の運転能力を評価する際には、認知症の原因疾患別の運転行動の危険性を理解しておく必要がある。この視点は、認知症患者の公的な運転能力評価の際にも重要である。運転能力の評価が、社会性などのより複雑な側面を無視して視空間性能力などの基本的な認知機能に重点をおけば、患者や社会の両方にとって危険性が大きい向こう見ずな行動を見逃してしまうことになると考えられる。FTLDの場合、ADに比べてより厳格な基準で、すなわち、より軽度の段階で運転中止を決定する必要があると思われる。

F. 参考文献

- Ikeda M, Ishikawa T, Tanabe H : Epidemiology of Frontotemporal lobar degeneration. *Dement Geriatr Cogn Disord* 17 : 265-268, 2004
- Kumamoto K, Arai Y, Hashimoto N, et al : Problems family caregivers encounter in home care of patients with frontotemporal lobar degeneration. *PSYCHOGERIATRICS* 4 : 33-39, 2004
- McKhann G, Drachmann D, Folstein M, et al : Clinical diagnosis of Alzheimer' s disease: report of the NINCDS-ADRDA Work Group Services Task Force on Alzheimer disease. *Neurology* 34 : 939-944, 1984
- Miller BL, Darby A, Benson DF, et al : Aggressive, socially disruptive and antisocial behaviour associated with fronto-temporal dementia. *Br J Psychiatry* 170 : 150-155, 1997
- Neary D, Snowden JS, Gustafson L, et al : Frontotemporal lobar degeneration-A consensus on clinical diagnostic criteria. *Neurology* 51 : 1546-1554, 1998
- Ratnavalli E, Brayne C, Dawson K, Hodges JR : The prevalence of frontoemporal dementia. *Neurology* 58 : 1615-1621, 2002
- Reger MA, Welsh RK, Watson GS, et al : The relationship between neuropsychological functioning and driving ability in dementia: a meta-analysis. *Neuropsychology* 18 : 85-93, 2004

図 10. 認知症の原因別による運転行動・交通事故の危険性の相違 (FTLD vs AD).



*:P<0.001;Fisher's exact test

おわりに

本研究は、認知症高齢者の自動車運転について本邦では初めて包括的に取り組んだプロジェクトである。この問題は、とくに日本では社会の高齢化とモータリゼーションの狭間で今後もますます深刻さが増していく社会問題といえることができる。3年間という限られた時間で取り組むにはあまりに大きな課題ではあったが、研究者の周辺でも認知症患者の自動車事故が頻繁に起こり始めていることを考えれば、近い将来日本政府の行政指針に資する何らかのエビデンスを提出する責任を感じずにはいられなかった。したがって、研究班員 5 人は絶えず有機的な連携を取り合いながら、役割分担と共同研究を継続し、本報告書に掲載したような高齢者の意識調査から、欧米諸国のガイドラインや管理システム、現時点での日本のシステムの問題点、家族支援の方策、スクリーニング方法の開発、認知症の原因疾患別の運転特徴、といった広範な研究成果を挙げることができた。しかし、スクリーニング方法の多数例による妥当性の検討や、公安委員会における最終決定のための運転シミュレーターのプログラムの開発など、結論の出ていない研究もある。これらについては、自主的な研究を継続する予定であるが、認知症の自動車運転の中止に関するシステムの確立と中止を余儀なくされた認知症高齢者やその家族に対する支援が、同時に一日も早く実現するために、本報告書のデータが活用されることになれば望外の幸いである。

*研究成果の刊行物に関する一覧表

〈書籍〉

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
池田 学	前頭側頭型痴呆に有効な薬物療法はあるか	岡本幸一, 棚橋紀夫, 水澤英洋	EBM神経疾患の治療2006-2007	中外医学社	東京	印刷中	
石川智久, 池田学	臨床診断(地域コホート研究を基盤として)	村山繁雄	アルツハイマー病診断	真興交易(株) 医書出版部		印刷中	
秦 龍二, 池田 学	FTDP-17		老年期痴呆ナビゲーター	メディカルビュー社	東京	印刷中	
豊田泰孝, 池田学	ピック病		老年期痴呆ナビゲーター	メディカルビュー社	東京	印刷中	
博野信次	ADAS-Cog		老年期痴呆ナビゲーター	メディカルビュー社	東京	印刷中	
博野信次	NPI		老年期痴呆ナビゲーター	メディカルビュー社	東京	印刷中	
荒井由美子	介護負担の評価	鳥羽研二	日常診療に活かす老年病ガイドブック第7巻 高齢者への包括的アプローチとリハビリテーション	メジカルビュー社	東京	印刷中	
荒井由美子, 佐々木 恵	在宅ケアの質の評価	大内尉義	日常診療に活かす老年病ガイドブック第8巻 高齢者の退院支援と在宅医療	メジカルビュー社	東京	印刷中	
荒井由美子	精神障害の現状と動向	鈴木庄亮・久道茂	シンプル衛生公衆衛生学 2006	南江堂	東京	印刷中	
池田 学, 田辺敬貴	前頭側頭型痴呆		老年期痴呆ナビゲーター	メディカルビュー社	東京	印刷中	
池田 学	器質性精神障害(前頭葉システム障害を含む)		今日の治療指針 2006年版-私はこう治療している	医学書院	東京	2006	698-699
池田 学	前頭側頭型痴呆に有効な薬物療法はあるか	上島国利, 三村将, 中込和幸, 平島奈津子	EBM精神疾患の治療2006-2007	中外医学社	東京	2006	363-367
池田 学	認知症の診断	荻原俊男監修, 池上博司, 楽木宏美	老年病・認知症-長寿の秘けつ-	メディカルビュー社	東京	2006	207-211
池田 学, 足立浩祥		監修 田辺敬貴, 野村美千江	アルツハイマー病の正しい理解	愛媛大学医学部神経精神医学	愛媛	2006	
博野信次	スクリーニングテストでどこまでアルツハイマー病を診断できるか	上島国利, 三村将, 中込和幸, 平島奈津子	EBM精神疾患の治療2006-2007	中外医学社	東京	2006	317-320
池田 学	アルツハイマー病の早期診断	三木哲郎	日常臨床に活かす老年病ガイドブック第4巻 認知症・うつ・睡眠障害の診療の実際	メジカルビュー社	東京	2005	56-63
福原竜治, 池田学	せん妄	上島国利	研修医の精神科研修ハンドブック	エルゼビア・ジャパン	東京	2005	60-65
池田 学	前頭側頭型痴呆	武田雅俊	現代老年精神医療	永井書店	大阪	2005	603-608
池田 学	パーキンソン病と痴呆	山本光利	皮質下性痴呆の本質	中外医学社	東京	2005	63-66
上村直人	運転免許と診断書	松下正明	司法精神医学4	中山書店	東京	2005	301-316

荒井由美子	家族介護者の介護負	武田雅俊	現代老年精神医療	永井書店	大阪	2005	263-267
小森憲治郎,池田学,田辺敬貴	原発性進行性失語 (Primary Progressive Aphasia: PPA)	笹沼澄子	コミュニケーション障害の新しい視点と治療理論	医学書院	東京	2005	221-238
熊本圭吾,荒井由美子	高齢者の心理的支援	武田雅俊	現代老年精神医療	永井書店	東京	2005	294-298
上村直人	高齢者の心理療法	武田雅俊	現代老年精神医療	永井書店	東京	2005	220-225
上村直人	主要な疾患と病態 せん妄	井上新平	精神科・神経科ナースの疾患別ケアハンドブック	メディカ出版	東京	2005	58-63
荒井由美子	精神障害の現状と動向	鈴木庄亮・久道茂	シンプル衛生公衆衛生学 2005	南江堂	東京	2005	293-303
池田学	前頭側頭型認知症	武田雅俊	現代老年精神医療	永井書店	東京	2005	603-608
福原竜治,池田学	物忘れ外来	井上新平	精神科・神経科ナースの疾患別ケアハンドブック	メディカ出版	大阪	2005	240-243
池田学,品川俊一郎		監修 田辺敬貴, 野村美千江	前房型痴呆の正しい理解	愛媛大学医学部神経精神医学	愛媛	2005	
松本光央,池田学,銚石和彦,福原竜治,田辺敬	Alzheimer型痴呆と前頭側頭型痴呆		別冊日本臨床 痴呆症学(3)	日本臨床社	大阪	2004	147-153
豊田泰孝,銚石和彦,池田学,田辺敬貴	Pick complex		別冊日本臨床 痴呆症学(2)	日本臨床社	大阪	2004	175-178
荒井由美子	Zarit介護負担度日本語版:J-ZBI	福地義之助	エキスパートナースMOOK・高齢者ケアマニュアル	照林社	東京	2004	318-319
兵頭隆幸,池田学,田辺敬貴	アルツハイマー病とほかの変性性痴呆性疾患の鑑別	中野今治,水澤英洋	よくわかるアルツハイマー病-実際にかかわる人のために-	永井書店	大阪	2004	106-120
品川俊一郎,池田学	アルツハイマー病の診断:臨床症状、診断基準	田平 武	新しい診断・治療のABCシリーズ22	最新医学社	大阪	2004	72-82
品川俊一郎,池田学	アルツハイマー病の診断:臨床症状、診断基準	田平 武	新しい診断・治療のABCシリーズ22	最新医学社	大阪	2004	72-82
池上直己,姉崎正平,荒井由美子,一圓光彌,井上恒男,近藤克	イギリス医療保障制度の概要	医療経済研究機構	医療白書2004年度版	日本医療企画	東京	2004	205-256
荒井由美子	家族介護者の介護負担-Zarit介護負担度日本語版(J-ZBI)及びその短縮版(J-ZBI_8)について	福地義之助	エキスパートナースMOOK・高齢者ケアマニュアル	照林社	東京	2004	318-319
荒井由美子,熊本圭吾	高齢者リハビリテーションと介護	武田雅俊	老年精神医学講座	ワールドプランニング	東京	2004	173-188
荒井由美子	在宅家族介護者の介護負担	上島国利	精神障害の臨床	日本医師会	東京	2004	251-252

荒井由美子	精神障害の現状と動向	鈴木庄亮,久道茂	シンプル衛生公衆衛生学 2004	南江堂	東京	2004	293-303
池田学,田辺敬貴	前頭側頭型痴呆	日本老年精神医学会	老年精神医学講座;各論	ワールドプランニング	東京	2004	51-69
池田学,田辺敬貴	痴呆(1)症状の見方と鑑別診断	武田雅俊,鹿島晴雄	コア・ローテーション 精神科	金芳堂	東京	2004	235-240
博野信次	痴呆症患者の社会支援ネットワーク		別冊日本臨床 痴呆症学(3)	日本臨床社	大阪	2004	348-354
松本光央,池田学,小森恵治郎	変性性痴呆性疾患	江藤文夫,武田克彦,原寛美,坂東充秋,渡邊修	高次脳機能障害のリハビリテーションVer.2	医歯薬出版株式会社	東京	2004	119-123
河野保子,首藤貴,藤目節夫,杉山充宏,池田学,陶山啓子,得丸敬三		高齢者の交通事故防止調査研究会	高齢者の交通事故防止調査研究報告書	社団法人 愛媛県交通安全協会	愛媛	2004	
木村格,池田学		田辺敬貴,西村道子,立花直子 監修	高齢者の睡眠 -より良い睡眠のために-	愛媛大学医学部神経精神医学教室	愛媛	2003	1-15
博野信次	Neuropsychiatric Inventory (NPI)		別冊日本臨床 痴呆症学(1)	日本臨床社	大阪	2003	154-158
荒井由美子	介護負担-現状と対策-	柳澤信夫	老年期痴呆の克服をめざして	長寿科学振興財団	東京	2003	239-299
荒井由美子	介護保険がはじまって介護負担はどう変わったか	柳澤信夫	健やかに老いるために 2002	長寿科学振興財団	東京	2003	50-51
繁信和恵,池田学	介護保険主治医意見書	「臨床精神医学」編集委員会	臨床精神医学 増刊号 精神科診療に必要な書式マニュアル	アークメディア	東京	2003	133-141
池田学	周辺症状と痴呆の行動心理学的問題		別冊日本臨床 痴呆症学(1)	日本臨床社	大阪	2003	109-113
荒井由美子	精神障害の現状と動向.	鈴木庄亮,久道茂	シンプル衛生公衆衛生学 2003	南江堂	東京	2003	295-305
鉾石和彦,池田学,田辺敬貴	痴呆の症候学的分類	柳澤信夫,篠原幸人,岩田誠,清水輝夫,寺本明	Annual Review 神経 2003	中外医学社	東京	2003	59-66

〈雑誌〉

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Schreiner AS, Morimoto T, <u>Arai Y</u> , Zarit SH	Assessing Family Caregiver's Mental Health Using a Statistically Derived Cutoff Score for the Zarit Burden Interview	Aging Ment Health			in press
<u>Ikeda M</u>	Attitude of community dwelling elderly people regarding dementia and driving	Japanese bulletin of social psychiatry			in press
Mori T, <u>Ikeda M</u> , Fukuhara R, Nestor PJ, Tanabe H	Correlation of visual hallucinations with occipital rCBF changes by donepezil in DLB	Neurology			in press
<u>Kamimura N</u>	Dementia illness and driving in Japan	Japanese bulletin of social psychiatry			in press
<u>Arai Y</u>	Family caregiver burden and quality of home care in the context of the Long-Term Care insurance scheme: An overview	Psychogeriatrics	5		in press
<u>Arai Y</u>	Implementation and implications of the 2002 Road Traffic Act of Japan from the perspective of dementia and driving: A qualitative study	Japanese Bulletin of Social Psychiatry			in press
<u>Ikeda M</u>	Interventional studies with the aim of reducing the burden of care through drug therapy of BPSD	Acta Neurologica Taiwanica			in press
<u>Arai Y</u> , Kumamoto K	Network for improving the dementia care system.	Psychogeriatrics			in press
<u>Hirono N</u>	Overview: Risk of driving in patients with dementia	Japanese bulletin of social psychiatry			in press
Kumamoto K, <u>Arai Y</u> , Hashimoto N, <u>Ikeda M</u> , Mizuno Y	Problems family caregivers encounter in home care of patients with Frontotemporal Lobar Degeneration	PSYCHOGERIATRICS	4		in press
Kumamoto K, <u>Arai Y</u> , Zarit SH	Use of home care services effectively reduces feelings of burden among family caregivers of disabled elderly in Japan: Preliminary results	Int J Geriatr Psychiatry	21(2)		in press
野村美千江, 大名門裕子	農村に暮らす初期痴呆高齢者と配偶者の生活特性とその全体像	日本看護研究学会誌	28		印刷中
工藤 啓, 荒井由美子	ヘルスケア情報のIT化について—特にPDA(Personal Digital assistants)の活用について—	公衆衛生情報みやぎ			印刷中

上村直人,掛田恭子,下寺信次,井上新平,池田 学	痴呆患者の自動車運転と医学的判断～医師は本当に痴呆患者の運転能力が評価できるのか?～	法と精神科臨床研究会雑誌				印刷中
池田 学	前頭側頭型痴呆の臨床	Dementia Japan	19			印刷中
Mori T, Ikeda M, Fukuhara R, Tanabe H	Regional cerebral blood flow change in a case of Alzheimer's disease with musical hallucinations	Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci				2005(published online)
Ikeda M, Patterson K, Graham KS, Lambon Ralph MA, Hodges JR	A horse of a different colour: Do patients with semantic dementia recognize different versions of the same object as the same?	Neuropsychologia	44	566-575		2006
Ishikawa T, Ikeda M, Matsumoto N, Shigenobu K, Brayne C, Tanabe H	A longitudinal study regarding conversion from mild memory impairment to dementia in a Japanese community	International Journal of Geriatric Psychiatry	21	134-139		2006
Oura A, Washio M, Wada J, Arai Y, Mori M	Factors related to institutionalization among the frail elderly with home-visiting nursing service in Japan	Gerontology	52(1)	66-68		2006
Shinagawa S, Ikeda M, Shigenobu K, Tanabe H	Initial symptoms in frontotemporal dementia and semantic dementia compared to Alzheimer's disease	Dement Geriatr Cogn Disord	21	74-80		2006
Arai Y, Kumamoto K, Zarit SH, Dennoh H, Kitamoto M	Angst in Shangri-la: Japanese Fear of Growing Old	J Am Geriatr Soc	53(9)	1641-1642		2005
Kazui H, Matsuda A, Hirono N, Mori E, Miyoshi N, Ogino A, Tokunaga H, Ikejiri Y,	Everyday memory impairment of patients with mild cognitive impairment	Dement Geriatr Cogn Disord	19	331-337		2005
Miura H, Arai Y, Yamasaki K	Feelings of burden and health-related quality of life among family caregivers looking after the impaired elderly	Psychiatry Clin Neurosci	59(5)	551-555		2005
Washio M, Arai Y, Yamasaki R, Ide S, Kuwahara Y, Tokunaga S, Wada J, Mori M	Long-term care insurance, caregivers' depression and risk of institutionalization / hospitalization of the frail elderly	Int Med J	12(2)	99-103		2005
Miura H, Kariyasu M, Yamasaki K, Arai Y, Sumi Y	Relationship between change in chewing ability and general health status: A longitudinal study of the frail elderly in Japan over a three-year period	Gerodontology	22	200-205		2005
新井明日奈,荒井由美子,松本光央,池田 学	認知症高齢者の運転行動の実態—家族介護者からの評価—	日本医事新報	422	23-27		2006

池田 学	アルツハイマー型痴呆の早期診断-早期アルツハイマー型痴呆と軽度認知障害(MCI)のボーダー-	CLINICIAN	52	493-500	2005
上村直人	痴呆患者の自動車運転の実態と医師の対応	精神神経学雑誌	107	1328-1334	2005
上村直人,酒田英太	Correspondence「妄想・幻覚患者の自己決定能力の判断について」	JIM	15(1)	61	2005
野村美千江,柴珠美,豊田ゆかり,宮内清子	痴呆高齢者が自動車運転を断念する過程～家族対処とジレンマ	精神神経学雑誌	107	1344-1347	2005
池田 学	ドネペジル治療によるレビー小体型痴呆患者の介護負担に対する効果	老年精神医学雑誌	16	736-737	2005
野村美千江,大名門裕子	農村に暮らす初期痴呆高齢者と配偶者の生活特性とその全体像	日本看護研究学会誌	28(1)	91-100	2005
荒井由美子,熊本圭吾,傳農 寿,北本正和	わが国の一般生活者の高齢社会に対する意識	日本医事新報	422	23-27	2005
Brayne C,池田 学	英国における痴呆の自動車運転-現状と課題について-	老年精神医学雑誌	16	831-835	2005
諸隈陽子,上村直人,掛田恭子,惣田聡子,岩崎美穂,今城由里子,井上新平.	塩酸クエチアピンにより性的問題行動が改善し、介護保険サービスの再利用が可能となった認知症の一例	精神科	7(4)	379-384	2005
荒井由美子	家族の介護負担および在宅ケアの質の評価	モダンフィジシャン	25(9)	1150-1153	2005
荒井由美子	家族介護者の介護負担	日本内科学雑誌	94(8)	1548-1554	2005
荒井由美子	家族介護者の介護負担と居宅ケアの質の評価	精神科	7(4)	339-344	2005
荒井由美子	家族介護者の介護負担の評価および在宅ケアの質について	日本医師会雑誌	134(6)	1030-1031	2005
鷺尾昌一,荒井由美子,大浦麻絵,山崎律子,井手三郎,和泉比佐子,森 満	介護保険導入後の介護負担と介護者の抑うつ-導入前から5年後までの訪問看護サービス利用者を対象とした調査から-	臨牀と研究	82(8)	100(1366)-104(1370)	2005
大浦麻絵,鷺尾昌一,桑原裕一,橋本恵理,荒井由美子,森 満	介護保険導入前後における福岡県K地区においての要介護高齢者を介護する家族の抑うつ	札幌医学雑誌	74(1)	5-8	2005
工藤 啓,吉田俊子,岡田彩子,荒井由美子,板宮 栄	宮城県区市町村に対しての食塩摂取アンケート調査について-お茶漬け状況および区市町村の減塩目標設定に焦点を当てて-	公衆衛生情報みやぎ	338	13-16	2005
石川智久,池田 学	軽度認知障害と早期アルツハイマー病	総合臨床	54	3071-3077	2005
足立浩祥,池田 学,小森憲治郎,田辺敬貴	高次神経機能	CLINICAL NEUROSCIENCE	23	56-59	2005
博野信次	高齢痴呆症患者の自動車運転-今、解決しなくてはならない問題点-	精神神経学雑誌	107	1322-1327	2005
松本光央,豊田泰孝,池田学	高齢者の運転の実態と今後の展望について	老年精神医学雑誌	16	815-821	2005

荒井由美子,新井明日奈	高齢者への交通安全対策ー認知症高齢者の運転を中心としてー	精神神経学雑誌	107	1335-1343	2005
荒井由美子,熊本圭吾,杉浦ミドリ,鷺尾昌一,三浦宏子,工藤啓	在宅ケアの質評価法 (Home Care Quality Assessment Index: HCQAI) の開発	日本老年医学会雑誌	42(4)	432-443	2005
三浦宏子,荒井由美子,山崎きよ子	在宅要介護高齢者ならびにその家族介護者における主観的言語コミュニケーション満足度の関連要因	日本老年医学会雑誌	42(3)	328-334	2005
工藤 啓,荒井由美子	市町村の健康日本21の進捗状況と策定推進	公衆衛生	69(5)	398-400	2005
工藤 啓,吉田俊子,荒井由美子	主病名と第2病名による簡易国保医療費分析の試みー大和町での国保医療費分析(中間報告)からー	公衆衛生情報みやぎ	343(7)	15-18	2005
蓮井康弘,池田 学	症候論 -器質性および身体疾患による精神障害	最新精神医学	7	4-7	2005
品川俊一郎,池田 学	前頭側頭型痴呆 -前頭葉変性症型を中心に-	老年精神医学雑誌	16	329-335	2005
豊田泰孝,池田 学,銚石和彦,田辺敬貴	前頭側頭型痴呆(FTD) 前頭葉変性型	老年精神医学雑誌	16	1005-1010	2005
繁信和恵,池田 学	前頭側頭型痴呆のケア	老年精神医学雑誌	16	1120-1126	2005
品川俊一郎,池田 学,銚石和彦,田辺敬貴	前頭側頭型痴呆の前駆状態	CLINICAL NEUROSCIENCE	23	302-304	2005
品川俊一郎,池田 学,銚石和彦,田辺敬貴	前頭側頭型痴呆ー前頭葉変性症型を中心にー	CLINICAL NEUROSCIENCE	23	302-304	2005
松本直美,池田 学	前頭葉の病変による痴呆	最新精神医学	10	11-19	2005
銚石和彦,池田 学,田辺敬貴	前頭葉型痴呆の臨床	神経研究の進歩	49	627-635	2005
足立浩祥,池田 学,小森憲治郎,田辺敬貴	大脳辺縁系 -update- C.大脳辺縁系の症候 1.高次神経機能	CLINICAL NEUROSCIENCE	23	56-59	2005
豊田泰孝,池田 学,田辺敬貴	地方都市における高齢者の自動車運転と公共交通機関に関する意識ー痴呆と自動車運転の問題を中心にー	日本医師会雑誌	134	450-453	2005
博野信次	痴呆(認知症)のリハビリテーション	リハビリテーション医学雑誌	42	637-642	2005
池田 学	痴呆高齢者の自動車運転と権利擁護	精神神経学雑誌	107	1320-1321	2005
池田 学	痴呆の薬物療法 2.精神科の立場から	日本内科学会雑誌	94	1529-1535	2005
池田 学	痴呆症の新たな治療戦略 精神症状と行動異常の治療	臨床神経学	45	961-963	2005
池田 学,豊田泰孝,繁信和恵	痴呆症患者の自動車運転中止に関するコンセンサスと医師の役割について	精神神経学雑誌	107	1348-1352	2005

上村直人,掛田恭子,北村ゆり,真田順子,池田学,井上新平	痴呆性疾患と自動車運転 日本における痴呆患者の自動車運転と家族の対応の実態について	脳と神経	57(5)	409-414	2005
池田学	日常生活における痴呆患者の食行動	神経心理学	21	98-109	2005
安部幸志,荒井由美子	認知症における社会的資源の活用:一般生活者の高齢社会に対する意識調査から	精神科	7(3)	219-225	2005
上村直人,諸隈陽子,掛田恭子,下寺信次,井上新平,池田学	認知症高齢者と自動車運転 運転継続が困難であった認知症患者10例の精神医学的考察	老年精神医学雑誌	16(7)	822-830	2005
工藤啓,荒井由美子	汎用性のある市町村健康増進計画策定法の試みについて—住民参加型策定方法への対応に向けて—	宮城大学看護学部紀要	8(1)	143-148	2005
大浦麻絵,鷺尾昌一,森満,輪田順一,荒井由美子	訪問看護サービスを利用する要介護高齢者の性差に関する特徴	保健師ジャーナル	61(5)	420-424	2005
新田順子,熊本圭吾,荒井由美子	訪問看護師から見た介護者の介護負担の実態	日本老年医学会雑誌	42(2)	181-185	2005
鷺尾昌一,斎藤重幸,荒井由美子,高木覚,大西浩文,磯部健,竹内宏,大畑純一,森満,島本和明	北海道農村部の高齢者を介護する家族の介護負担に影響を与える要因の検討:日本語版Zarit介護負担尺度(J-ZBI)を用いて	日本老年医学会雑誌	42(2)	221-228	2005
荒井由美子	要介護高齢者を介護する者の介護負担とその軽減に向けて	日本老年医学会雑誌	42(2)	195-198	2005
Arai Y, Kumamoto K, Washio M	Assessment of family caregiver burden in the context of the LTC insurance system: J-ZBI.	Geriatrics & Gerontology International		(in press)	2004
Arai Y, Kumamoto K	Caregiver burden not "worse" after new public Long-Term Care (LTC) insurance scheme took over in Japan	Int J Geriatr Psychiatry	19	1205-1206	2004
Ikeda M, Fukuhara R, Shigenobu K, Hokoishi K, Maki N, Nebu A, Komori K, Tanabe H	Dementia-associated mental and behavioral disturbances in community dwelling elderly: findings from the 1st Nakayama study	J Neurol Neurosurg Psychiatry	75	146-148	2004
Ikeda M	Early diagnosis and memory clinic for Alzheimer's disease	PSYCHOGERIATRICS	4	129-131	2004
Ikeda M, Tanabe H	Editorial: Reducing the burden of care in dementia through the amelioration of BPSD by drug therapy	Expert Rev. Neurotherapeutics	4	921-922	2004
Ikeda M, Shigenobu K, Fukuhara R, Hokoishi K, Maki N, Nebu A, Komori K, Tanabe H	Efficacy of fluvoxamine as a treatment for behavioral symptoms in FTLD patients	Dement Geriatr Cogn Disord	17	117-121	2004
Ikeda M, Ishikawa T, Tanabe H	Epidemiology of frontotemporal lobar degeneration (FTLD)	Dement Geriatr Cogn Disord	17	265-268	2004

Arai Y, Kumamoto K, Washio M, Ueda T, Miura H, Kudo K	Factors related to feelings of burden among caregivers looking after impaired elderly in Japan under the Long-Term Care Insurance system	Psychiatry Clin Neurosci	58(4)	396-402	2004
Washio M, Nakayama Y, Izumi H, Oura A, Kobayashi K, Arai Y, Mori M	Factors related to hospitalization among the frail elderly with home-visiting nursing service in the winter months	Int Med J	11(4)	259-262	2004
Arai Y	Family caregiver burden in the context of the Long-term Care (LTC) insurance system	J.Epidemiology	14(5)	139-142	2004
Nagao M, Sugawara Y, Ikeda M, Fukuhara R, Hokoishi K, Murase K, Mochizuki T, Miki H, Kikuchi T	Heterogeneity of Cerebral Blood Flow in Frontotemporal Lobar Degeneration and Alzheimer's Disease	European journal of nuclear medicine	31	162-168	2004
Hirono N, Hashimoto M, Ishii K, Kazui H, Mori E	One-year change in cerebral glucose metabolism in patients with mild Alzheimer's disease's	J Neuropsychiatry Clin Neurosci	16	488-492	2004
Kumamoto K, Arai Y	Validation of "Personal Strain" and "Role Strain": Subscales of the short version of the Japanese version of the Zarit Burden Interview (J-ZBI_8)	Psychiatry Clin Neurosci	58(6)	606-610	2004
小森憲治郎, 石川智久, 池田学, 田辺敬貴, 繁信和恵	Semantic dementia例に対する語彙再獲得訓練	認知リハビリテーション 2004		86-94	2004
荒井由美子	Zarit介護負担尺度日本語版(J-ZBI)および短縮版(J-ZBI_8)	日本臨床	62(4)	45-50	2004
荒井由美子, 工藤 啓	Zarit介護負担尺度日本語版(J-ZBI)および短縮版(J-ZBI_8)	公衆衛生	68(2)	125-127	2004
荒井由美子	Zarit介護負担尺度日本語版の短縮版(J-ZBI_8)の開発について	Gp net	50(1)	22-23	2004
池田学	アルツハイマー病における物盗られ妄想と記憶障害の関係について	高次脳機能研究	24	147-154	2004
荒井由美子	家族の介護負担を介護負担尺度を用いて測定する.	自立支援とリハビリテーション	2(2)	4月10日	2004
荒井由美子	家族介護者の介護負担. 最新医学	別冊 アルツハイマー病	22(3)	173-179	2004
荒井由美子	家族介護者の介護負担—その評価および今後の課題—.	日本精神医学雑誌	15	111-116	2004
荒井由美子	介護負担の評価	日本臨床		印刷中	2004
三浦宏子, 苅安誠, 山崎きよ子, 荒井由美子	虚弱老人における摂食・嚥下障害に関するケアアセスメント.	日本老年医学会雑誌	41(2)	217-222	2004

石川智久, 銚石和彦, 森 崇明, 牧 徳彦, 小森憲治郎, 中川賀嗣, 池田 学, 田辺敬貴	駆梅療法後も脳血流量の改善がみられなかった進行麻痺の1例	精神医学	46	749-752	2004
上村直人, 片岡賢一, 掛田恭子, 井上新平	権利擁護事業の契約可能であったが、成年後見が必要であったアルツハイマー型痴呆の一例	臨床精神医学	33	1271-1277	2004
上村直人, 掛田恭子, 井上新平	幻覚・妄想患者に対する法的対応	JIM	14	860-865	2004
荒井由美子	高齢者に対する機能評価-Geriatric Assessment-	ジェロントロジー ニューホライズン	16(2)	141-143	2004
兵頭隆幸, 池田 学, 小森憲治郎, 田辺敬貴	視覚性半側空間無視の簡易なベッドサイドの検査	精神科治療学	19	53-58	2004
工藤 啓, 吉田俊子, 青木匡子, 吉岡悦子, 猪股みち子, 後藤久美子, 工藤菰子, 岡田彩子, 荒井由美子	住民健診におけるソルトペーパーを利用した減塩教育の長期効果について.	公衆衛生情報みやぎ	327	21-25	2004
三浦宏子, 荒井由美子	摂食・嚥下障害のスクリーニングと評価.	作業療法ジャーナル	38(13)	1201-1207	2004
池田 学	前頭側頭型痴呆	CLINICIAN	51	493-500	2004
池田 学	前頭側頭型痴呆における前頭葉機能障害	老年精神医学雑誌	15	700-706	2004
山崎律子, 鷺尾昌一, 荒井由美子, 井手三郎	大都市における訪問看護サービス利用者の公的サービスの利用状況と介護者の負担感-福岡市の一訪問看護ステーションの調査より-	臨床と研究	81(1)	115-119	2004
池田 学, 石川智久, 野村美千江, 荒井由美子	地域から見た精神科医療と介護保険	精神医学	46	1063-1069	2004
池田 学	地域における MCI の疫学 -中山町研究を通して-	日本老年医学雑誌	41	186-192	2004
池田 学	痴呆にみられる精神症状・行動異常(BPSD)の薬物療法	老年精神医学雑誌	15 (増刊号)	79-87	2004
博野信次	痴呆の行動学的・心理学的症候(BPSD)を評価することの重要性	老年精神医学雑誌	15 (増刊号)	67-72	2004
上村直人, 惣田聡子, 岩崎美穂, 井上新平	痴呆介護における新しい課題:痴呆性ドライバーと介護負担	老年精神医学雑誌	15 (増刊号)	102-110	2004
上村直人	痴呆介護における新しい課題:痴呆性ドライバーと介護負担	岡山県医師会会報	115 3	13-16	2004
熊本圭吾, 荒井由美子, 上田照子, 鷺尾昌一	日本語版Zarit介護負担尺度短縮版(J-ZBL8)の交差妥当性の検討	日本老年医学雑誌	41(2)	204-210	2004
Shigenobu K, Ikeda M, Fukuhara R, Komori K, Tanabe H	A Structured open trial of risperidone therapy for delusions of theft in Alzheimer disease	American Journal of Geriatric Psychiatry	11	527-532	2003

Hirono N, Hashimoto M, Yasuda M, Kazui H, Mori E	Accelerated memory decline in Alzheimer's disease with apolipoprotein e4 allele	J Neuropsychiatry Clin Neurosci	15	354-358	2003
Arai Y, Zarit SH, Kumamoto K, Takeda A	Are there inequities in the assessment of dementia under Japan's LTC insurance system?	Int J Geriatr Psychiatry	18	346-352	2003
Ikeda M, Shigenobu K, Fukuhara R, Maki N, Hokoishi K, Nebu A, Nomura M, Komori K, Tanabe H	Delusions of Japanese patients with Alzheimer's disease.	Int J Geriatr Psychiatry	18	527-232	2003
Washio M, Inoue H, Kiyohara C, Matsumoto K, Koto H, Nakanishi Y, Arai Y, Mori M	Depression among caregivers of patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Int Med J	10(4)	255-259	2003
Washio M, Oura A, Arai Y, Mori M	Depression among caregivers of the frail elderly: Three years after the introduction of the Public Long-Term Care insurance for the	Int Med J	10(3)	179-183	2003
Kazui H, Mori E, Hashimoto M, Hirono N	Enhancement of declarative memory by emotional arousal and visual memory function in Alzheimer's disease	J Neuropsychiatry Clin Neurosci	15	221-226	2003
Ishii K, Mori T, Hirono N, Mori E	Glucose metabolic dysfunction in subjects with a Clinical Dementia Rating of 0.5	J Neurol Sci	215	71-74	2003
Kazui H, Hashimoto M, Hirono N, Mori E	Nature of personal semantic memory: evidence from Alzheimer's disease	Neuropsychologia	41	981-988	2003
Arai Y, Ueda T	Paradox revisited: still no direct connection between hours of care and caregiver burden.	Int J Geriatr Psychiatry	18(2)	188-189	2003
Ikeda M	Prevention and early intervention for vascular dementia in community dwelling elderly: findings from the Nakayama study	PSYCHOGERIATRICS	3	17-20	2003
Nestor PJ, Fryer TD, Ikeda M, Hodges JR	Retrosplenial cortex - BA 29/30 - hypometabolism in mild cognitive impairment (prodromal Alzheimer's disease)	The European Journal of Neuroscience	18	1-5	2003
Nishio Y, Nakano Y, Matsumoto K, Hashimoto M, Kazui H, Hirono N, Ishii K, Mori E	Striatal infarcts mimicking frontotemporal dementia: a case report.	Eur J Neurol	10	457-60	2003
池田 学, 繁信和恵	Mild cognitive impairment (MCI)の地域における有病率 - 中山町研究を中心に -	精神神経学雑誌	105	381-386	2003

荒井由美子, 田宮菜奈子, 矢野栄二	Zarit介護負担尺度日本語版の短縮版 (J-ZBI_8)の作成:その信頼性と妥当性に関する検討	日本老年医学会雑誌	40(5)	471-477	2003
小坂直美, 博野信次, 東陽次郎, 森悦朗	中年期の食習慣とアルツハイマー病の発症との関連の検討	臨床栄養	102	53-58	2003
小森憲治郎, 池田学, 中川賀嗣, 田辺敬貴	意味記憶における右側頭葉の役割 - semantic dementiaにおける検討-	高次脳機能研究	23	107-118	2003
荒井由美子	介護負担についての調査研究の現状	医事新報	411	112-113	2003
鷺尾昌一, 荒井由美子, 和泉比佐子, 森満	介護保険制度導入1年後における福岡県遠賀地区の要介護高齢者を介護する家族の介護負担感: Zarit介護負担尺度日本語版による検討	日本老年医学会雑誌	40(2)	147-155	2003
増井香織, 荒井由美子, 鷺尾昌一, 工藤啓	介護保険制度導入直後の介護負担の変化—要介護度, サービス利用との関連—	保健婦雑誌	59(1)	1060-1065	2003
池田学	巻頭言 痴呆高齢者と自動車運転	老年精神医学雑誌	14	404-405	2003
鉾石和彦, 池田学, 牧徳彦, 根布昭彦, 山内寿恵, 田辺敬貴	緩徐に進行し, 奇妙な幻覚妄想をともなった初老期変性性痴呆の一例	精神医学	45	509-514	2003
上村直人, 掛田恭子, 井上新平	向精神薬「高齢者と薬」	JIM	113	932-937	2003
池田学, 田辺敬貴	講座: 老年精神医学の専門医のために—17 前頭側頭型痴呆	老年精神医学雑誌	14	905-915	2003
荒井由美子, 熊本圭吾	高齢者リハビリテーションと介護.	老年精神医学雑誌	14(3)	367-375	2003
池田学	前頭側頭型痴呆の臨床症状と現在の治療・ケア	老年精神医学雑誌	14	9-12	2003
工藤啓, 右田周平, 菅沼靖, 荒井由美子	地域ケアシステム構築の手法について—企画書と計画書の重要性—	公衆衛生	67(6)	449-451	2003
池田学	地域における痴呆の早期発見の意義と対応の考え方	老年精神医学雑誌	14	9-12	2003
渡辺恭子, 西川志保, 繁信和恵, 塩田一雄, 松井博, 池田学	痴呆症に対する音楽療法の効果についての検討	精神医学	45	49-54	2003
繁信和恵, 池田学	痴呆性疾患別ケア	老年精神医学雑誌	14	1101-1108	2003
長戸登世, 池田学, 田辺敬貴	非Alzheimer型変性痴呆	精神科	2	123-129	2003
松鶴甲枝, 鷺尾昌一, 荒井由美子, 朔義亮, 井手三郎	訪問看護サービスを利用している在宅要介護高齢者の主介護者の介護負担—福岡県南部の都市部の調査より—	臨床と研究	80(9)	1687-1690	2003
二宮由実, 池田学, 頼田綾子, 小森憲治郎, 田辺敬貴	老年期における心理社会的要因への対応	精神科治療学	18	551-556	2003

* * 資料